

道の名前が決定しました。

ちはら台自治会連合会設立 20 周年と、コミュニティセンター開設 20 周年記念として、地域内の 6 校の児童・生徒さん達に応募戴いた、ちはら台の主要な道路、遊歩道に名前を付けて戴くプロジェクトがスタートして 3 か月余り。

応募総数 1084 と、ほぼ 3 割の子供たちが応募してくれました。

プロジェクトメンバー 6 名がそれぞれ 1 校を担当し、各校にポスター、応募用紙、応募箱を配布し、コロナ状況もあったので、少し長めの 1 か月の応募期間を設定しました。その応募数に圧倒されながらも、それぞれが思いのこもった名前を選出し、最終的に 20 周年記念実行委員会（6 名）により決定しました。

決まった名前とその名前に込めた思いの紹介と、それ以外にも素敵な名前がたくさんありましたので、少しだけ紹介します。個人情報も含まれるので、お名前は伏せさせて戴きました。地図をご参照になりながら、お楽しみください。

- ① みらい通り。 清水谷公園から碓井クリニックの十字路で公園通りを横切り、水之江公園の南側を通り、瀬又に抜ける道で、担当して戴いたのは「**水の江小学校**」の皆さんです。4 名がこの名前を付けてくれました。
理由としては「そこを通った人や歩いた人は未来がいいことがあるかも?」「かっこいいから」「大きくなってもそのみらいがつづくから」「大人になってもっとりたいから」
その他の候補としては「しあわせの道」「風と笑顔の道」「わくわく道」「陽光の道」「水の江通り」などが挙げられました。子供たちの未来が、この街の未来でもあることなどが、選択の理由に挙げられていました。
- ② ちはら台北通り。 ちはら台の北側の外周道路です。**西中学校**の生徒さんの担当で、2 名の応募がありました。理由は「ちはら台の北の道だから。わかりやすいほうが良いと思ったから」「ちはら台の北にある道だから」。選定の理由も単純で、わかりやすい、呼びやすいという点です。
この道は現在ほぼ千葉市との境界ですが、もともとは旧国名の上総と下総の境界でもあります。街路樹の桂の樹が春一番先に葉が芽吹き、秋には最初に紅葉する木ということから、それにちなんだ「桂坂通り」「仲総通り：上総と下総の境界で 2 つをつなぐ道で”中”を最初に考えたが、中ではなく仲で人と人をつなぐ道の通りになってほしいと思った」「季早の道（さしゅん）：季節の表れが早いから。四季がはっきりしていきいれいだから」「北境通り」といった、名前が候補としてエントリーされました。さすが中学生とのエールも上がります。
- ③ 花咲（はなさき）通り。 葉月公園から北進し、南中の校庭をかずさの道と交差し、サウスヒルズと四季の丘の間をぐるっと回り、四季の丘バス停の歩道橋を渡り、帝京平成大学グラウンドともみの木台の間を抜けて、西中で再びかずさの道と交差し、公園通りを横切り如月公園に至る、長い遊歩道です。**清水谷小学校**の児童が着けてくれました。
理由は「春・夏・秋・冬、どの季節もきれいな花が咲いているから」。
その他の候補としては「千花（せんか）通り」「四季おりおり通り：四季をつうじて何かの花がさいているとのことで、栗の木やマロニエなど、それぞれのお花

が春夏秋冬に力強くありのままに輝いている姿と一緒に、人間も一人一人が輝ける通りでありたいとの願い。「さんぽ道」「みどりの道」などが候補に挙がりました。

- ④ あおぞら通り。 おゆみ野バザール通りの延長で、ちはら台東行のバス通りとなります。**ちはら台桜小学校**の児童が付けてくれました。3人の子供たちの応募作品です。

理由は「青空はどこまでも続き絶えないこと。あおぞら通りがいつまでも残ってほしいという思いを重ねてえらびました。あおぞらをひらがなにしたのは、子供が親しみやすいと思い、広い年齢層から愛されてほしいと思ったからです」「霜月公園から坂になっていて、下ってみると空が見えるので、きれいだから」「ちはら台で一番高い所だから、空がきれいに見えるから」

その他の候補を紹介します。「さくらっ子通り」類似応募4件6人。「ちはら台東通り」4人。「みはらし通り」「ハッピー通り」「マザー通り」皆さん特徴をきちんと掴んでいますね。確かに空が広くきれいに見える通りです。

- ⑤ 川焼通り。 公園通りからもりまちショッピングセンター脇を抜けて、牧園幼稚園、牧園自然公園、牧園小学校校庭を抜けてユニモに至り、ちはら台公園の東側を通って再び公園通りに合流する通りで、**牧園小学校**の皆さんが担当してくれました。8人の子供たちが選んでくれました。

理由は牧園自然公園となっている古墳の上に「川焼不動」の祠と、村田川川岸の「川焼瓦窯」跡に因んでいるようです。

その他の候補としては「牧園通り」に32名が応募してくれました。「こぶん通り」「ゆかいな寿通り：ちはら台にはゆかいなお年寄りが多いので」「ふどう通り」「買い物道り」「ユニモに近いすーっと通れる道」などの応募には、わくわくしてしまいました。

- ⑥ コミュニティ通り。 水之江小学校校庭端から、公園通りを横切り、文月公園から郵便局前、コミュニティセンター入口、せんだうさんの交差点から帝京平成大学の校舎とグラウンドの間を通って、上記のちはら台北通りに至る道で、**南中学校**の生徒さんたちが応募してくれました。

理由は「コミュニティーセンターの前を通るので、どこの通りかみんながイメージしやすい。地域の人で協力しあったり、支え合ったりして、ここちはら台をより良い町にしていく！」こちらもさすが中学生です。わかりやすく呼びやすく、そして住んでいる人としての思いが伝わります。

その他の候補も「ちはら台中央通り」に2名。「琥珀通り：公園が月の名前なので道は宝石の名前でそろえるとキレイだと思ったから。」「月虹通り：月に因んだ名前の公園が多い。名前がかっこいい。ちはら台で綺麗月が見られるから、その風景が損なわない自然豊かな場所であってほしい。子供たちがすくすく成長するため。未来に虹がかかっていくことを願いたい。水の江小の壁に虹の絵が描かれているのでぴったりあう」「八面玲瓏通り（はちめんれいろう）：八面玲瓏とは、どこから見ても透き通っていて、曇のないさまを意味しています。この通りを通るときに、清々しい気持ちになれるようにという願いを込めました。」

本当に素敵な感性だと思います。

応募用紙の束に驚きながら、私も数日これらの名前と格闘しました。本当はすべてを紹介したいくらいの内容で、選ぶのは大変でしたし、子供たちの思いに深く感動しました。このプロジェクトに参加できたことを、子供たち、各校の校長先生を始めとする教職員の皆さん、プロジェクトメンバーに心より感謝致します。